

2018年4月1日から2019年9月30日に  
当院で頭部MRI検査を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：パーキンソン病における新規画像バイオマーカーの検討 磁化率マッピング強調像の有用性  
研究期間：医学部附属病院長の許可日～2020年10月31日  
研究責任者：山梨大学医学部放射線医学講座 准教授 本杉 宇太郎

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

パーキンソン病は徐々に手足が動かしづらくなる緩徐進行性の神経変性疾患です。現状では血液検査などでは診断が難しく、熟練した神経内科医による診察が診断の決め手となっています。

2017年に脳の一部である中脳をMRIを用いて詳しく調べるとパーキンソン病の方で変化が見られることが報告されました。本研究ではパーキンソン病やパーキンソン病と似た病気、その他の病気の検査のために撮像された頭部MRI画像を解析し、中脳をMRIで詳しく調べることがパーキンソン病の診断に有用かどうかを明らかにします。

【研究の方法について】

本研究ではパーキンソン病やパーキンソン病と似た病気、その他の病気の検査のために撮像された頭部MRI画像を収集します。収集されたMRI画像を元に、磁化率マッピング強調像（SMWI）を再構成し、中脳 nigrosome 1 の描出率を比較します。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

- 対象となる患者さん：当院で頭部MRIを受けられた方でパーキンソン病もしくはパーキンソン病類似の病気と診断された患者さん、またはパーキンソン病ともパーキンソン病類似の病気を含む神経等の病気とも診断されていない患者さん。
- 対象期間：2018年4月1日～2019年9月30日

〈利用する情報・項目〉

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施される項目です。

- ①患者基本情報：年齢、性別、臨床診断名、重症度分類（Hoehn and Yahr 分類等）、既往歴
- ②画像検査：DaTSCAN
- ③MRI画像：T2\*強調像、磁化率強調像(SWI)、3次元T1強調像

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていないことはありません。

### 【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、本学医学部放射線医学講座の研究者のみです。

### 【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

#### 〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部放射線医学講座

准教授 本杉 宇太郎

メールアドレス：umotosugi@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-6744